

1) 経費：23,316円

・消耗品費：7116円

(内訳)

・ヒンジ付き角形ケース2箱(6,336円)

・空気入れハンドポンプ(780円)

・TA雇用経費(16,200円)

(TA経費内訳)

事前準備2名×1,080円×2時間=4,320円

当日スタッフ2名×1,080円×5.5時間=11,880円(うち1時間は事前準備)

2)当日の様子

A) 10:00~11:30 保護者との懇談会、シグマホール

・参加者：保護者25名、

賛助会員：物理学会5名、日本ロレアル1名、JFEスチール1名、

実行委員：大学教員7名(奈良女子大3、大阪公立大2、大阪大2)、コンソーシアム3名

司会進行：事務局の阪大入試広報職員

・賛助会員・実行委員が前に並び、簡単な自己紹介のあと、保護者から自由に質問を受けた。

・質問：(a)(父)物理学科の就職先、(b)(中1母)、娘に理系に進んで欲しいが、理系に興味を持ったきっかけなどを教えて欲しい、(c)(父)娘には長く仕事を続けて欲しいが、資格取得は有利か？生涯仕事を続けるには何が必要か？(d)(父)女性研究者の妊娠出産時の対応について。大学教員が学生指導をする際の対応、企業で参加しているプロジェクトへの対応は？(e)(父)海外と日本の差、将来有望な分野について。

(f)登壇者に物理系が多かったため、最後に生物系の教員から生物分野についての言及があった。

物理学会TAの女子学生も発言した。

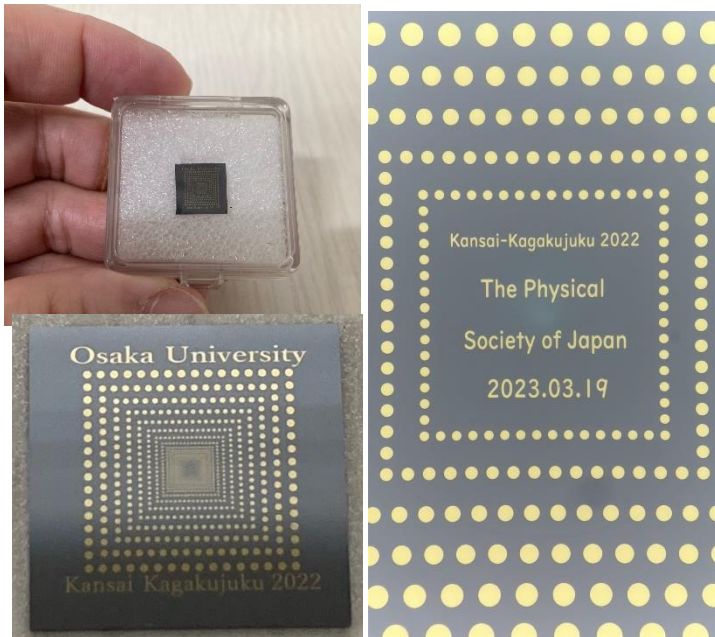
B) 12:30~13:30 ブース見学会

(a)物理学会のブース内訳

・「見えないモノをみてみよう」事前に用意した微細加工した基盤を顕微鏡で観察して、肉眼では見えない文字を解読。基盤はお土産に持って帰ってもらった。

・「液体窒素の世界に触れてみよう」風船を液体窒素で冷却し、空気(酸素、窒素)が液化して縮む→戻る、を実体験。気体の種類、沸点・・・演示をしながら、生徒の質問にも受け答えしていた。

・「おしゃべりカフェ」 M1、M2のリケジョ学生さんとの交流。



当日行事に参加した中高生 61 名、ほぼ全員がブース見学をしたと思われる。

生徒も保護者も自由に見学。生徒数人で回るほか、保護者と子のペアも見られた。

順路があるわけではなく、誘導は困難であった。

・他の賛助会員ブース（三井化学、JFE スチール、日本ロレアル）の様子をよく見てくるべきでした。生徒 6 人程度を丸テーブルの周りに着席させ、(A4 サイズの厚紙)パネルを紙芝居のように見せながら説明したりしていました。

